

原発が出す高レベル放射性廃棄物の一時貯蔵施設や六ヶ所再処理工場がある青森。「青森から原発ゼロへ」と2012年から「金曜日行動」に参加する戸川雅子さん(67)の思いは。(阿部浩士)

歩む

コロナ禍に

雪のなか、今年も元日から「金曜日行動」で「今年も東京電力福島第一原発事故から10年です。原発や核燃料施設が立地する青森から声をあげることが、全国の原発をとめ、な

原発・核燃施設ゼロ 青森から意思表示



吹雪の中、原発・核燃いらないと市民へアピールする参加者(右が戸川さん)＝8日、青森市(青森県・藤原朱)

2012年から「金曜日行動」戸川雅子さん(67)

くす力になります」と貯蔵されています。自声をあげました。

青森には、処理の展望もない危険な高レベル放射性廃液が大量に本を壊滅させる破壊力

然災害や重大事故で停止が続けば、放射性廃液は沸騰・爆発して日

その後、危惧していた原発事故が東京電力福島第一原発で起きたことから2012年、「なくそう原発・核燃、あおもりネットワーク」結成に参加し、「金曜日行動」を続けました。

986年4月に起きたソ連のチェルノブイリ事故でした。子どもがまだ4歳の時でした。地震、津波、台風、火山噴火など日本列島は毎年のようにどこかで自然災害が起きています。「再処理工場で何かあれば子どもたちの将来はどうなるのか。自分が動こう」と核燃料施設をなくそうと市民運動を始めました。

青森を核のゴミの最終処分地にしない署名も呼びかけています。続けてきたなかで見えてきたことがあります。例えば添加物を使わない安心・安全な食料や現役世代がもっと投票に行ってもらいたい。水や物の大切さ。そと、呼びかけます。

2年前の参院選で東北6県は、野党統一候補が青森を除いて、自民現職を破って勝利しました。悔しさとも

に市民と野党の共闘の力強さを感じました。青森でも市民が野党を後押しして野党連合政権をつくったら、原発をゼロにして地球温暖化対策に取り組む社会になります。若い世代